

青山学院大学剣友会 活性化に関する提案

青山学院大学剣友会 会則第1章第3項、剣友会の存在目的の1つである「会員相互の親睦」の強化策（活性化策）として、以下を検討したので提案する。

記

1. 剣友会活動の現状

- 大学（剣道部）卒業後、剣道から離れるメンバーも多く、出身地へのUターン、地方配属（転勤）などの状況と相俟って、剣友会活動へ一定関与している会員は限定的。

（参考）

・現時点での会員数	564名
・2019年度年次総会参加者	25名（会員対比 4.4%）
・2019年度オール青山剣道祭懇親会参加者	19名（会員対比 3.4%）
・2019年度会費納入者数	112名（会員対比 19.9%）

2. 活動活性化の必要性

- 大学剣道部への支援を今まで以上に強化していくためには、剣友会の存在目的である会員相互の親睦をさらに深める必要がある。
- 会員相互の親睦を深め、剣友会活動を活性化させ、剣友会への支援に理解を示す会員を増やすことで、会費納入率の向上に繋げ、剣道部支援を強化するといった好循環を創造したい。
- そのためには、まずは剣友会の活動を知ってもらう工夫（仕掛け）が必要であり、その対策の1つとして「（仮称）会員の永年表彰」を行いたい。

3. 具体的な対応プラン【決議事項】

- 大学・剣道部卒業後（剣友会入会后）10年目、20年目を迎える年次の会員を「年次総会」もしくは「オール青山剣道祭」に招待する。
- 恒例となっている開催後の懇親会費用を剣友会が負担する。
- また対象者に記念品を贈呈し、顕彰する。

4. 開始タイミング

- まずは 2020年11月に予定している「オール青山剣道祭」に招待することとしたい。

5. コスト試算 ※各年次平均8名、計16名対象とした場合

- 懇親会費 @5,000×16=80,000
- 記念品 @1,500×16=24,000 合計 104,000円+α

6. その他（継続検討依頼）

- 会員相互の親睦強化、好循環の仕組みづくりについて、ご意見を頂戴したい。

以上